

ふりがな 氏 名	はせがわ あきら 長谷川 晃	職 名	准教授
取得学位	博士（人間科学）・早稲田大学大学院人間科学研究科		
学 歴	早稲田大学大学院人間科学研究科人間科学専攻臨床心理学コース 博士後期課程 単位取得満期退学		
受賞歴等	日本パーソナリティ心理学会第18回大会 大会発表賞 2009/11 Outstanding Presentation Award at the 3rd Asian Congress of Health Psychology 2007/9		
所属学会	日本心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本感情心理学会、日本認知療法学 会、日本認知・行動療法学会、日本うつ病学会、日本行動医学会、日本健康心理学 会、日本心理臨床学会、日本カウンセリング学会、日本心身医学会、日本ストレス 学会、International Society for Research on Emotion		

教 育 活 動

(主な担当科目)

- 2017年：(学部) 人格心理学、専門演習ⅡA・ⅡB
(大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 2016年：(学部) 認知行動療法、人格心理学、卒業論文
(大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、課題研究Ⅰ・Ⅱ
- 2015年：(学部) 認知行動療法、臨床心理学演習Ⅰ・Ⅱ、心理学課題研究Ⅰ・Ⅱ
(大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、特別研究
- 2014年：(学部) 性格心理学、認知行動療法、心理学実験
(大学院) 臨床心理学特論、臨床心理基礎実習、特別研究

(その他)

- ・2012年4月 修士課程の大学院生が心理臨床センターで行っている実習や学外で行っている実習のスーパービジョンを担当

研 究 活 動

(著書等)

- ・第10章 適応・健康：感情心理学の視点から 島義弘（編）ライブラリ 心理学を学ぶ 6.パーソナリティと感情の心理学 サイエンス社 分担執筆 2017/4
- ・13章3節 抑うつ 日本パーソナリティ心理学会（企画）二宮克美・浮谷秀一・堀毛一也・安藤寿康・藤田主一・小塩真司・渡邊芳之（編）パーソナリティ心理学ハンドブック 福村出版 分担執筆 2013/3

(論文等)

- ・共感的感情反応と向社会的行動および攻撃行動の関連：普段経験されている感情の影響を統制して パーソナリティ研究 著者：堀井美里・長谷川晃 印刷中



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・ How do rumination and social problem solving intensify depression? A longitudinal study. *Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy*. 著者：Hasegawa, A., Kunisato, Y., Morimoto, H., Nishimura, H., & Matsuda, Y. in press.
- ・ 自己反すうと自己内省が社交不安に及ぼす影響：4週間の間隔を空けた縦断的検討 感情心理学研究 著者：小澤崇将・長谷川晃 印刷中
- ・ 親の夫婦関係の認知及び養育態度と自尊感情の関連 東海心理臨床研究, 12. 著者：南谷歩・長谷川晃 印刷中
- ・ 大学生の一般的信頼が精神的健康の改善を導くメカニズム：信頼の解き放ち理論に基づく検討 感情心理学研究, 24, 92-100. 著者：吉本貴博・長谷川晃 2017/4
- ・ 抑うつエピソードの経験者と未経験者における社会的問題解決と反すうの差異：日本人大学生を対象として パーソナリティ研究, 25, 162-165. 著者：長谷川晃・服部陽介・西村春輝・丹野義彦 2016/11
- ・ 過剰適応の背景要因：情緒的依存欲求, 賞賛獲得・拒否回避欲求, 社会的自己制御を取り上げて 東海心理臨床研究, 11, 20-29. 著者：八木里依子・長谷川晃 2016/3
- ・ Is trait rumination associated with the ability to generate effective problem solving strategies? Utilizing two versions of the Means-Ends Problem-Solving Test. *Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy*, 34, 14-30. 著者：Hasegawa, A., Nishimura, H., Matsuda, Y., Kunisato, Y., Morimoto, H., & Adachi, M. 2016/3
- ・ 大学生のネガティブな反すうが対人ストレスの増加に与える影響：攻撃性と社会的状況からの回避行動を媒介変数として 東海学院大学紀要, 9, 93-100. 著者：小澤崇将・長谷川晃 2016/2
- ・ 楽観性・悲観性が高い者が持つ先延ばし過程の意識の特徴 東海学院大学紀要, 9, 129-136. 著者：渡辺将成・長谷川晃 2016/2
- ・ Prospective associations of depressive rumination and social problem solving with depression: A 6-month longitudinal study. *Psychological Reports*, 116, 870-888. 著者：Hasegawa, A., Hattori, Y., Nishimura, H., & Tanno, Y. 2015/6
- ・ Depressive rumination and social problem solving in Japanese university students. *Journal of Cognitive Psychotherapy*, 29, 134-152. 著者：Hasegawa, A., Yoshida, T., Hattori, Y., Nishimura, H., Morimoto, H., & Tanno, Y. 2015/5
- ・ 不登校経験をもつ大学生の成長過程 東海学院大学紀要, 8, 141-154. 著者：浮田あすか・福島裕人・長谷川晃 2015/3
- ・ Depressive rumination and past depression in Japanese university students: Comparison of Brooding and Reflection. *Psychological Reports*, 114, 653-674. 著者：Hasegawa, A., Koda, M., Hattori, Y., Kondo, T., & Kawaguchi, J. 2014/6
- ・ 反すうに関するメタ認知的信念 *Depression Frontier*, 12, 73-79. 著者：長谷川晃・宮崎球一・根建金男 2014/3
- ・ 賞賛獲得欲求と拒否回避欲求が演技行動に及ぼす影響：対人場面間での比較 東海心理臨床研究, 9, 2-9. 著者：長谷川晃・伊藤公子 2014/3
- ・ 制御焦点の達成・不達成が感情の質に与える影響の検討 東海心理臨床研究, 9, 30-39. 著者：渡辺将成・長谷川晃 2014/3



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・ Longitudinal predictions of the Brooding and Reflection subscales of the Japanese Ruminative Responses Scale for depression. *Psychological Reports*, 113, 566-585. 著者：Hasegawa, A., Koda, M., Hattori, Y., Kondo, T., & Kawaguchi, J. 2013/10
- ・ 抑うつ的反すうの能動性に焦点を当てた介入プログラムの効果：大学生の高反すう傾向者を対象とした予備的検討 パーソナリティ研究, 23, 48-60. 単著 2013/7
- ・ Translation and initial validation of the Japanese version of the Ruminative Responses Scale. *Psychological Reports*, 112, 716-726. 単著 2013/6
- ・ 日本語版 Ruminative Responses Scale の下位尺度と自己志向的完全主義の関連性：考え込みと反省的熟考の比較 東海学院論叢, 68-80. 単著 2013/3
- ・ 質問紙法・面接法で測定された抑うつ的反すうとメタ認知的信念の関連性 東海学院大学紀要, 6, 269-275. 単著 2013/3・抑うつ的反すう面接課題の実施前後で生じる気分の変化 東海学院大学紀要, 6, 261-268. 単著 2013/3
- ・ 抑うつ的反すうの持続を測定する面接課題の作成 感情心理学研究, 20, 47-55. 単著 2013/3
- ・ 抑うつ的反すうと関連する信念の内容 感情心理学研究, 18, 151-162. 著者：長谷川晃・根建金男 2011/5
- ・ 抑うつ的反すうとネガティブな反すうが抑うつに及ぼす影響の比較 パーソナリティ研究, 19, 270-273. 著者：長谷川晃・根建金男 2011/4
- ・ 抑うつ的反すうに関するネガティブな信念と抑うつとの関連性 行動医学研究, 17, 16-24. 著者：長谷川晃・根建金男 2011/4
- ・ 行動調節に焦点を当てた自己教示訓練が状態的なスピーチ不安の変容に及ぼす効果 早稲田大学臨床心理学研究, 10, 35-46. 著者：長谷川晃・阿部朋典・藤岡緑・根建金男 2011/3
- ・ 見せかけの自己行動の遂行に関わる認知的変数と抑うつとの関連性 早稲田大学臨床心理学研究, 10, 81-90. 著者：小川真理子・三村和貴・長谷川晃・根建金男 2011/3

社 会 活 動

- ・ 2014年9月～ 日本感情心理学会編集委員
- ・ 2013年9月～2016年5月 学外で勤務する臨床心理士を対象としたスーパービジョンを実施
- ・ 2012年10月～ 日本パーソナリティ心理学会編集委員 (2013年10月～ 常任編集委員)
- ・ 2012年10月～ 学術雑誌への投稿論文 59本の査読を担当
- ・ 2012年10月 平成24年度岐阜県保健師助産師看護師短期実習指導者講習会 (特定分野) にて、教育心理学に関する講習を担当
- ・ 2012年5月～2013年9月 東海学院大学短期大学部生涯学習センターの臨床心理士資格試験講座の講師を6回担当
- ・ 2011年12月～ 医療法人明萌会ウェルネス高井クリニックにて、来院する患者さんを対象としたカウンセリングを実施
- ・ 2011年8月～2012年8月 岐阜県立の公立高校の1年生の生徒を対象に高大連携の授業を2回実施
- ・ 2011年7月～ 岐阜県職員を対象としたメンタルヘルスの講演を20回実施



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・2011年6月～ 高等学校での出張授業を12回実施。
- ・2011年6月～ 医療領域で活動する医師・臨床心理士を対象とした講演を4回実施
- ・2010年1月～ 作成した心理尺度の公開し、学外の研究者に対して30回程度貸し出しを行う



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY